

平成18年度第3回仙台市廃棄物対策審議会 議事録

平成18年7月31日（月）

13:30～15:45

仙台市議会第一委員会室

I 次 第

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 市長挨拶
4. 委員紹介
5. 会長，副会長選出
6. 議事

- (1) ごみ処理費用の負担のあり方に係る検討について
- (2) その他

7. 閉 会

II 出席委員数

出席 15名

欠席 5名（海野委員，鈴木昇委員，鈴木泰爾委員，野田委員，矢吹委員）

III 議事

議長（長谷川 会長）	それでは，議事に入る。議事録の署名を崔委員にお願いする。 次第にしたがって，議事を進めたい。「(1) ごみ処理費用の負担のあり方に係る検討について」は，前回検討したことを市がとりまとめたものだ。今まで審議してきた中で，ごみ処理費用については有料化もやむをえない，手数料水準は45リットル袋で50円程度という線が出てきたわけだが，詳細について市から説明願いたい。
総務課長	（資料1，2について説明）
議長（長谷川 会長）	ただいま説明のあった「受益者負担制度の素案」と「今後の検討課題の方向性」について，質問や意見を伺いたい。
荒井委員	指定袋の種類について，大中小の3種類だけでなく，かなりの量のごみを減量化している方にとっては，5リットルくらいの小さなものも必要なのではないかと思うが，いかがか。
総務課長	今回は現行どおりの3種類という提案をさせていただいた。5リットル袋には，どのくらいの需要があるのかという問題がある。また，袋の大きさが変わっても，袋製造・流通経費はあまりは変わらないという状況がある。5リットル袋をつくっている都市の実態を踏まえて，更に検討したい。
議長（長谷川 会長）	45リットル袋での袋製造・流通経費は9円ぐらいということだった。45リットルでも5リットルでも大した差はないだろうということだが，5リットルになるとどのくらいの金額になるか試算しているか。
総務課長	5リットル袋の場合いくらだということまでは試算していない。
議長（長谷川 会長）	袋の製造等に要する経費が45リットル袋で9円と言うと，場合によっては，5リットル袋では製造等の原価が賄えないということもある。そういうコストもしっかり認識しておかないといけない。5リットルでは袋の製造や流通等のコストを考えたら，受益者負担のメリットがなくて，10リットルではどうかとか15リットルではどうかとか

	<p>は、これからの議論になると考えていい。</p> <p>5リットル袋についての意見が出たが、指定袋の種類について、市から提案された45リットル、30リットル、15リットルの3種類の方向でいいかどうか、他の委員から意見があったら伺いたい。</p>
深野委員	<p>袋の大きさに関しては、45リットルも、極端に言ったら5リットルも、流通コストを混ぜてもそんなに金額の差が出るものではない。それを問題にして、袋の大きさを決めるということは、ごみを減らすということと問題が違うのではないかと思う。家族数の少ない、夫婦だけの家族もあるし、少量のごみしか出さない家庭もある。原価だけで決めるという方法は、考え直したほうがいいのではないかなと思う。</p>
議長（長谷川会長）	<p>今はいろんなご意見を伺いたいと思う。他に意見はないか。</p>
崔委員	<p>今もお金を出して指定袋を買っているわけだが、今は有料化ではないのかどうなのかわからない。45リットル1枚50円といった場合、今買っている値段に単純に上乗せになって高くなるという認識でいいのか。それとも現実に消費者とすれば今回の有料化によって具体的にどれくらいの負担になるのかということ、わかりやすく説明していただくほうが一般の市民は判断しやすいと思う。</p>
総務課長	<p>手数料収入が仙台市に入ってくるかどうか、有料化かどうかの違いである。市民の負担がどう変わるのかについては、今45リットル袋を買うと1枚当たり7、8円から10円程度だと思うが、それが50円程度になるという違いが生じることになる。</p>
局長	<p>よく誤解される方が多いが、今の仙台市のごみ収集袋というのは、こういう規格の袋であれば民間で自由につくって売っていただいて結構だということで、仙台市の手数料としては1銭も入ってこないシステムである。今度条例で仙台市の手数料として定めて市民の皆様へ負担をいただくということになれば、その袋の製造原価から流通原価まで含めてトータルで市民に負担いただくのが45リットル袋で50円程度というシステムにしていかざるをえないと考えている。</p>
議長（長谷川会長）	<p>今までの袋の売上げは、袋をつくっているメーカーとか売っているところに入って仙台市には入っていないが、有料化というのは今の袋の値段を50円にして、そのかなりの部分を仙台市の収入にするということだと思う。</p> <p>先ほど荒井委員と深野委員から、もう少し小さなもので排出量を減らすということをお願いしてはどうかとの提案があった。行政からすれば、袋製造・流通コストの問題や、どの程度の需要があるか、検討を要するという考えのようだ。もう少し小さなものについても検討したいということになると、例えば45、30、15に加えて5リットルも必要と、審議会として考えて市民に問うこともあるだろう。コスト面の問題もあるけれども、ごみの減量を重視する方向もいいだろうということであるが、この件について他に意見はないか。</p>
庄司委員	<p>家族の少ない家庭も多くなっているの、5リットルにするか10リットルにするか別にして、小さい袋は選択肢としてあっていい。大きい袋だけだといつまでも台所に貯めておくということになるので、家庭の選択で、あまり家の中に置きたくないという場合は細かく出せるということも選択肢としてあっていいと思う。</p>
松坂委員	<p>私は逆の立場の意見で、大中小で小の15リットルが限度ではないかと思う。5リットルとか10リットルとかそれだけ小さなものがあれば、一人暮らしの方が助かるということが確かにあるが、私は夫婦で暮らしているが、袋が一杯になるまで次の週までと</p>

	<p>っておくようにしている。また、袋の値段を考えていくと、小さな袋では袋代も出なくなってしまうのではないかと心配になる。そうすると、私は大中小の3つあれば、市民の皆さんにも理解していただけるのではないかと思う。</p>
山岡委員	<p>袋を変えるということであれば、CO2を削減できるような素材の袋があるというようなことも聞いているが、そういった材質などについても検討しているのか。</p>
総務課長	<p>そこまで検討は進めていない。まず骨格とその他の部分を詰めて、10月に市民意見をいただくような形にしたいというところを、取り急ぎ検討していただきたい。</p>
議長（長谷川会長）	<p>袋の大きさについて、かなり意見が出た。大きさによってどのくらいの袋製造・流通経費になるかを試算してコスト割れになったらどうかということもあるが、例えばアパートで長い間ごみを置くのは大変だということであれば、5リットルくらいの袋でも仕方ないということもある。そういう市民の便利さも考慮して、少し幅広くごみの袋の大きさを決めてもいいのかなと思うので、検討の対象に残しておきたいと思う。袋の経費については、場合によっては5リットル、10リットルをつくる場合の経費を試算してみてもいいと思う。</p>
末永委員	<p>今の論議の時に、仙台市の単身者の世帯が各都市と比較して多いのかどうかとか、そのような資料も一緒に対比して説明していただければいいと思う。</p>
議長（長谷川会長）	<p>市では5リットル袋を採用している都市の状況も把握して検討したいということなので、次回にまた論議することにした。</p>
橋委員	<p>小さな袋になった時に収集業者の手間についても考慮する必要があると思う。積み込む時に、汚れるとか、風で飛ばされることはないのかとか、そういうことが心配だ。また、いろいろなサイズになった時に仙台市として一番大事な手数料の回収の面で問題がないか、そういうところも確認していただけたらと思う。</p>
総務課長	<p>小さな袋を実際に使っている都市について、橋委員が言うような懸念がないかどうか、調査したいと思う。</p>
紅邑委員	<p>最近仙台市はいろいろ企業から広告をとっていたりするので、袋にスポンサーをつけてコストを下げるとか、そういったことも考えてはどうか。それから、有料化を実施してもごみが減らなかった都市はなかったのかということも調べていただきたいし、その原因についても可能なら確認していただきたい。また、先ほどいただいた資料1の2の「(2) 手数料収入の使途」と「(3) 不法投棄・不適正排出対策」について、既に実施している都市でどういう課題が出ているのかについても、できれば情報収集をして、ここで審議する上で参考にする情報がいただければいいと思う。</p>
議長（長谷川会長）	<p>次の議題に入っているようだが、先ほどの有料化によってごみが増えたか減ったかについての質問については、前回、仙台市から資料が出ていた。新しく委員になった方は初めてだろうと思うので、そのことについて説明をお願いしたい。</p>
総務課長	<p>有料化実施前にあまりごみの減量化が進んでいなかった都市は、有料化を実施すると大きく減量する、逆に言うと、かなり減量化が進んでいた都市では効果が小さくなるということが一つある。もう一つは、有料化と組み合わせで、どういった施策を講じるかによって、ごみの減量幅に影響が出てくると一般的に言えるが、減量幅の小さかった都市のいくつかについて具体的に調べて報告したい。</p>

議長（長谷川会長）	<p>前回の審議会の資料で、仙台市が大袋1枚当たりの手数料と減量率ということである都市を調べてグラフにしていたものがあった。袋の値段が高くなればなるほど減量率が高いということだった。今のご質問のようにごみの量がプラスになったということは報告を受けていないが、次回にまとめて報告をいただくことにしたい。</p> <p>その他の点についても、説明を願いたいと思うが。</p>
総務課長	<p>袋にスポンサーをつける点について、有料化になった場合、可能性はあると思うが、今まだ検討はしていない。資料1の2の(2)と(3)の他都市の状況についても、先ほどの減少幅が少なかったところと併せて、主な都市について調べてみたい。</p>
議長（長谷川会長）	<p>全体的に有料化について、先ほど言った料金的には家庭ごみ45リットル袋50円程度、ごみ袋の種類については3種類だが少し幅広くということについては、皆さんの意見ということでいいと思うが、その他の点について伺いたいと思う。</p>
岡本委員	<p>先ほどの説明だと、今までは民間で袋をつくっていて、1枚7円くらいの単価で売っていた。これからは、市が指定袋の製造・流通業務を委託することになる。流通コストを含めて1枚当たり9円かかるという話があったが、それは、市が小売店に指定袋を売ってもらった販売委託料も含めてのものなのか、お聞きしたい。</p> <p>また、家庭ごみ大袋1枚当たり50円程度、プラごみはその半額程度という計算でいくと、私の家庭でもだいたい1ヶ月当たり500円くらいの負担なのかなと思う。4人世帯なので、4人で割って一人当たり1ヶ月100円ちょっとくらいであれば仕方がないかなと、妥当な金額かなという気がする。また、有料化は個人的にはやむをえないと思っているが、一般の市民の方では、賛成の方半分、反対の方もまだまだ半分いるということで、あくまでも納得のいく取り組みをしていただきたいと思っている。そういう意味で、1ヶ月500円の支払いを抑えるために、広告収入をとってみようとか、そういうアイデアはどんどん入れていっていただきたい。</p>
総務課長	<p>新たな制度に変わった場合の原価については、まだ詳しい積上げはしていないが、9円というのは、製造と保管・流通、それから販売の委託、すべて含めて9円程度であろう、袋が小さくなれば若干それよりも安くなるのではないかと、というくらいの粗い試算である。それは、どの程度の枚数をつくるのか、先行している自治体の例を見ると、都市の規模によってもかなり変わってくるという状況にある。</p>
平賀副会長	<p>収集業者と処理業者に、今度この審議会に参考参加してもらうことはできるか。それが一点と、資料2を見て、資源ごみのうちでも、缶・びん・ペットボトルを無料にすることには、私は賛成だ。</p> <p>そしてやはり、分別して資源を出すことの大事さを教育していくことがまず一つだと思う。分別した残りは有料でお願いするという説得もできる。それから、先ほど山岡委員から話があったような、環境にやさしい素材のごみ袋を使っていくというようなことも、有料だけれども環境にやさしいといった意味で検討していただければと思う。</p>
議長（長谷川会長）	<p>収集運搬している方の意見を聴取することについて、何かあるか。</p>
局長	<p>生活系のごみ処理は市の委託事業であり、比較的市が実態を把握しているつもりである。今、素案の形で審議会で見聞をいただいているところだが、もっと中身が詰まってくれば、実施に向けて市から業務を委託している業者に話を聞かなくてはならない部分も多いと思う。そういった検討の熟度が上がった時点で、審議会の場で聴取するのか、市が聴取した意見を審議会に報告するのか、少し先のこととして検討させていただきたい。</p>

議長（長谷川会長）	<p>今度は議題を変えて、資源ごみやその他のごみについて、どんな項目について有料化すべきか、適正処理をするために必要な費用についても含めて議論してみたい。有料化する対象のごみの種類でもいいし、意見があれば自由にお願いしたい。</p>
庄司委員	<p>現在、本市では缶・びん・ペットボトルはコンテナで収集しているが、先日、京都市を視察してきたところ、京都市では缶・びん・ペットボトルを袋で収集していて、みんな袋にごちゃごちゃ入れていた。有料化して袋収集にしたら、せっかく今まで仙台市が取り組んできた分別に悪い影響を与えるのではないかという印象を持った。缶・びん・ペットボトルについては、これまでの市民の方々の努力を十分認めて、有料化をせずにこのまま協力していただくということがあっていいのかなと思う。</p>
議長（長谷川会長）	<p>たくさんの意見を伺いたい。その他に何かあるか。</p>
松坂委員	<p>先ほどの平賀副会長の発言は、資源ごみのうち缶・びん・ペットボトルのこのみのみを言ったのか、それとも今度の家庭ごみが有料化になることによって発生する、例えば古紙とかそういったものについても含めて言ったのか。確認してからお話ししたいが。</p>
平賀副会長	<p>私は資源ということにもう一度きっちり目を向けることも大切な要素であると思っているので、もちろん紙ごみも含めての話である。</p>
松坂委員	<p>それでは、缶・びん・ペットボトルの取扱いについて、私ども現実にこういったものをリサイクルする業者側としては、袋回収にして何でも袋に入れられることほど怖いことはない。市民の皆さんに家庭や学校で分別しなさいと指導しているのに、それを袋に缶でもびんでも何でも入れたら回収作業も危険だし、回収された後、それをどう分別するのかという問題にもなる。これは、経費的に見ても問題が生じると思われ、私も庄司委員と同じように賛成できかねる。今までどおりのやり方がベターだと思う。</p>
議長（長谷川会長）	<p>資源化されるものについては、有料化はしなくていいという意見があった。ただ、一番初めに説明があったが、資源となるようなごみについても手数料をとるという行政の提案は、資源化にはかなりのコストがかかっている、そのコストについてはある程度市民に負担してもらわなければならない、その金額が、プラスチック製容器包装であれば、家庭ごみの半額程度が適当というものであった。資源化には仙台市としてもかなり金をかけており、ごみ処理費用の適正な負担という面を考えれば、資源化するごみといえども有料化の対象にしようという考えである。そこも踏まえて議論していただきたい。</p> <p>非常にきれいに分別しておけば、そのまま資源化というのは簡単にいくと思うが、品質はバラバラのようだ。仙台のプラごみはすぐわかる、あまりよく分別されていない、洗浄されていないと言われる。洗浄されていないと、リサイクルは非常に難しい。資源ごみだから簡単に無料という結論はいかがかと思う。</p> <p>他に何か意見はないか。</p>
深野委員	<p>一般の方はとにかくリサイクルに出せば同じようにリサイクルされていると考えていると思うが、プラスチックにしても、きれいに洗ってそのまま工場に持っていきけるような状態であれば価値も高くなる。きれいなものと汚いものを選別していかなければいけないが、それには必ず人の手や機械が必要で、お金がかかってくる。そういうものをただにするのなら、出す人もそれだけの意識を持ってもらうという協力があって成り立つものだという事を市民の方々にわかってもらう必要がある。リサイクルするシステムをもっと市民にアピールして、わかってもらうようにしたほうがいい。</p>

議長（長谷川 会長）	<p>皆さんの意見をまとめて、その後に市民意見を募集する、その「中間とりまとめ」の原案づくりは次回の審議会になるが、今議論されたことも踏まえて、いろんな提案を検討してまとめていきたい。</p> <p>庄司委員も松坂委員も資源ごみを袋で集めると問題があるという意見で、以前に市も今までのコンテナ収集から袋収集にした場合の問題点について説明していたが、それがかなり課題として残ってくるのかなと思う。</p> <p>また、有料化の対象範囲をどうするかについて、先ほど仙台市からペットボトル等の「等」とは、廃乾電池とか蛍光灯とかであるという説明があった。廃乾電池とか蛍光灯についてどう対応するかということも、意見をいただければと思うが、どうか。</p>
岡本委員	<p>缶・びんではなく、プラスチック製容器包装について提案したい。最終的に焼却しなければいけない家庭ごみについては負担を求めるけれども、プラスチック製容器包装も含めてリサイクルするものについては無償にするというのであれば、わかりやすいと思う。プラごみは確かに収集や選別にお金がかかるが、手間ひまかけて出してもらわなければ更にお金がかかるので協力してくださいというきっかけにもなると思う。他の自治体では、プラスチック製のごみの質を高めるために、納豆のパックは家庭ごみで出してください、などとしているところもあるが、仙台市としてはそこを一手間かけても、家庭ごみは有料化するけれども、プラスチック製容器包装については無償にするので協力してくださいと市民に呼びかける、いいタイミングになるのかなと思うので、あえて提案したい。</p>
総務課長	<p>プラの件は前回までの議論で対象範囲に含めるという方向が出ていた。そもそも仙台市が提案した趣旨は、一つには負担の適正化ということで、資源物であってもコストがかかっているということもあるが、ごみの減量化ということで、3Rの中では、そもそもごみを減らす、ごみになるものを受け取らないというリデュースが一番優先すべきものと言われている。資源物であっても有料にすることによって、なるべく家庭にごみを持ち込まないというのがまず大事で、ただしそれが家庭ごみと一緒にっては困るので、家庭ごみの半額程度に低く抑えることによって分別を促すということで、提案した。缶・びん・ペットボトルについては、びんを袋で集めることによって割れてしまい、かなりの部分が埋立てをしなくてはならなくなるという状況がある。ごみ減量・リサイクルを今回の有料化の目的の一つにもしているわけであり、その辺をもう少し時間をいただいで検討したいとお願いをしたところである。</p>
議長（長谷川 会長）	<p>もともと資源となるプラごみも、今は家庭ごみと一緒に無料なので、資源化されるものでも面倒くさいからと家庭ごみの中に入れてきたところがある。ところが、有料化されて、家庭ごみに対して資源物はその半額程度ということになると、市民の分別への協力も得られるであろうということがある。このことについては意見をたくさん伺って、次回以降にまとめて出したいと思うが、他に何かないか。</p>
紅邑委員	<p>先ほど深野委員と岡本委員が言っていたが、正しくリサイクルしていかなければ、その出したものには結果的にはコストがかかってしまうということだと思う。今の話で言うと、無料にしてほしいのであれば正しく出さなければいけないが、そういったことを学ぶ機会が大事だと思う。例えば、クリーン仙台推進員だとか、学校や企業で一市民として仕事をしていて、また子供たちにしても、そういったことを伝えるNPOもあると思うので、単に減らせばいいということだけではなく、学ぶ機会をシステムとしてつくっていくことも同時に考えていく必要があると思う。</p>
議長（長谷川 会長）	<p>資源化するごみは、できれば無料でもいいが、家庭ごみの半額程度になったとしても、資源化のためにはもっとよく洗ってくださいと行政から指導されてよくなってくれば、もっと負担が少なくなることもある。そういうことをこれから続けていくためには、あ</p>

<p>総務課長</p>	<p>る程度負担をしてもらうのも必要かなと思う。次回以降もう一度議論したい。</p> <p>資料1の1の(2)の対象範囲については、だいたいよいか。廃乾電池とか蛍光灯のことは全然出てこないが、そこまで有料化の対象に検討するというのは、リサイクルというよりも、かなり処分費がかかっているということだと思うが。</p> <p>廃乾電池と蛍光灯については、現在、缶・びん・ペットボトルと同じ日に収集しており、今回の定日収集のごみの有料化を検討するに当たって、同様に載せさせていただいた。そう頻繁に出るものでもなく、缶・びん・ペットボトルよりも実現する上での困難度は高いと考えている。</p>
<p>議長（長谷川会長）</p>	<p>廃乾電池と蛍光灯について、私から話をすると、廃乾電池や蛍光灯には有害物を含んでいる。それを有料化してしまうと、人によっては他のごみに混ぜてしまう可能性がある。</p> <p>資料1の最後に、有料化によっていろいろ問題点があるだろうということで、「今後の検討課題の方向性」として整理されている。最初のところでは、紙類の分別・リサイクルの体制充実の課題が依然として残ってくるだろうと、これに対してどうしていくとか、手数料収入の使途とか、不法投棄とかについて説明があったところだが、何か意見や質問があれば、お願いしたい。</p> <p>特に紙類については、どういう紙がどのように集められて有効利用されるかが出ず側でわからないので、ダイレクトメールとか雑誌とかをそのまま家庭ごみにして出してしまうことがある。そういう紙類の分別・リサイクル体制の充実について、しっかりとした対策をとることが必要で、手数料収入をそういう対策に使えば、もっと減量化が進むだろうということも前から議論になっているので、意見があったら伺いたい。</p>
<p>松坂委員</p>	<p>この審議会で、ごみが有料化になれば紙ごみの問題が必ず発生する、それに伴って受け皿を必ず考えていかなければならないと言ってきた。紙の種類は、業界では20種類くらいあるが、子供会を中心にする時には、新聞・雑誌・段ボールの3大古紙という分類だけでやってきた。今後も3大古紙が主力だろうと予測するが、今まで袋に入れられて回収されて燃やされていたものをリサイクルするには、やはり普通のトラック、いわゆる平ボディ車で新聞は新聞、雑誌は雑誌、その他の紙という形で、皆さんが分別したとおりの形をなるべく崩さないで収集していくのが一番いいやり方だと思う。</p>
<p>議長（長谷川会長）</p>	<p>紙はものすごく多く出る。市では事業ごみの中の再生可能な紙類は焼却に回さないということで、かなり厳しくやっている。残ったのが一般家庭から出てくるごみで、松坂委員は、もっと紙を分別して出すシステムづくりをしていかなければならないとの意見だ。紙類等については、スーパー等でかなり拠点づくりが進められているが、もっと広げて市民が利用しやすい形態をとっていければ、もっと多くの市民が利用できる。そこはシステムづくりとして重要だと思う。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>有料化のタイミングと一緒に、あるいは先行して、リサイクルに回る仕組みがスタートすることが必要だ。紙に関しては、今まで子供会、町内会、老人クラブなど、地元の団体が中心になってやってきた。それだけでは現実には回っていないのは事実で、新たな仕組みが必要だということはわかるし、それはやっていただかなければいけないが、そのことによって、今まで子供たちが一所懸命やってきたのに、効率的なシステムができたので、その役割は終わったということはないようにしていただきたい。子供たちも地域の中で役割を担って活動しているのであり、その仕組みは残していただきたいと思っている。</p> <p>もう一つは、店で買物をした時に、レジのところで、例えばキャベツとかを買った時に一番外側だけは店に置くと、店の責任で処理してくれたり、パッケージの外側の部分は店の責任でごみとして処理して家庭に持ち帰らなくてもいいという仕組みにしてい</p>

	<p>るところがある。ごみにならないものを買うのが一番だが、包装紙あるいはパッケージを含めて、商品についているものは店の側にリサイクルを協力してもらうことも一つの手段ではないかと思う。是非検討していただきたい。</p>
<p>豊澤委員</p>	<p>今のことに関して、小学生向けの副読本の編集をしているが、どうやってごみを出すかということについての教育が大切だと思った。学校でも分別してごみを出しているが、もう少しきれいにしたらもっといいとか、そういう意味づけをする教育が足りないと思った。これについては、副読本の中身の検討や、普段の教育の中でもそういうことをしなければならぬだろうが、理解させるためには、いろいろな場が必要で、学校だけでなく、今話があった子供会等で収集している中で理解させる大切さもあるのかなと思った。そういうものを増やしていくことが必要ではないかと思った。</p>
<p>議長（長谷川会長）</p>	<p>いろいろな意見が出て、今も紙が中心だったが、他の項目についても先ほどの総務課長の説明の中で、私たちが聞きたかったことが答えになってきたのかなと思う。</p> <p>それは、資料1の最後の項目で、仙台市の周辺の都市とは情報交換が進められているということである。私たちの意見とかが、行政でも生かされているということだ。</p> <p>他に意見がないようなら、皆さんの意見を踏まえて、次回以降にもう一度まとめることにしたいが、それについては次の議題として資料3があり、「市民意見の募集について」ということである。説明をお願いしたい。</p>
<p>総務課長</p>	<p>（資料3について説明）</p>
<p>議長（長谷川会長）</p>	<p>どの審議会でも行政の原案をもとに検討をして、行政の側で「中間とりまとめ」を行い、これに市民意見を聞くのが一般的であるが、今回、市民の皆さんに意見を聞く際には、行政の側から行政の考え方を示すのではなく、この審議会でも出たことをわれわれの案として審議して出したい。そこで、次回の審議会には、私と副会長が協議をして、これまで皆様方から出された意見を整理したものとして、市民の皆さんに意見を求める「中間とりまとめ」の案を提示したいと考えている。そういう点で、皆さん方の意見を強く出したいと思っているので、意見があったらお願いしたい。</p>
<p>深野委員</p>	<p>今回の有料化の検討に関しては、委員全員がその内容を十分検討して審議してきたと思う。</p> <p>私はこの「中間とりまとめ」の中に、委託事業でもあるし受益者負担になっていくので、委託業者の入札価格やごみ処理費用の収支について、情報公開が必要との意見もとり上げていただきたいと思う。</p>
<p>紅邑委員</p>	<p>現状のごみ袋がどんな形で購入されているのか、有料化によるコストがどの程度かかるのか、またその内訳が、一般の市民にはわかりにくいし、わかってないと思う。それが理解できるような説明がないと、せっかくいただいた意見が無駄になってしまう可能性がある。市がごみ処理の現状やごみ処理費用について広報する場合、どのように出すのかということなども、次の審議会でも案を出せるなら出していただくといいと思う。</p>
<p>議長（長谷川会長）</p>	<p>ごみ処理費用を有料化する大きな目的として、ごみの減量化がある。減量化するには、今までと違って、市民にもっとごみについて考えてほしいという意識も強い。そうしたことも踏まえて、われわれの立場でなぜ有料化するのかという基本的なものをまとめることが必要で、手数料水準や指定袋の大きさなどについて、これまで審議会でも議論してきた意見を「中間とりまとめ」にまとめて、それで市民意見を募集していきたい。</p> <p>私と副会長で原案づくりをして次回の審議会に提示したいが、市民の皆さんは、審議会の議論を知らないで見るわけだから、わかりやすく、意見を出しやすい表現を使っていきたい。</p>

<p>崔委員</p>	<p>今の件について、意見や質問はないか。</p> <p>全く同じ意見で、前提の知識もなければ、見る人によっては、ごみにかこつけて増税と同じようなことをしているのではないかという意見も多分出てくると思う。ただごみの費用を市民に負担してもらおうというだけでは、ちょっと舌足らずかもしれない。ごみ減量効果を期待しての受益者負担であるという話を説明しないと、費用負担の話だけでは税金の負担みたいな話と同一視されて、争点がずれた話が出てくる可能性もあると思う。そうした説明を要するのではないかと思う。</p>
<p>議長（長谷川会長）</p>	<p>まさしくそう思う。資源化に関して、ごみを減らすためにはリサイクルしたい、リサイクルするためには紙類の分別の充実をもっとやろうと、そのために費用がかかるが、その費用はごみの処理の負担をすることによって賄おう、ということも含めて総合的に考えたら、というような説明を、もっとわかりやすい表現で次回以降出してみても、皆さん方に議論をしていただければと思う。</p> <p>いろんな問題が出てきているが整理して、行政側でなくて市民側に立って、市民が納得できるような形の意見を聞けるような「中間とりまとめ」にしたいと思う。次回以降よろしく願いするが、他に何か意見はあるか。</p>
<p>豊澤委員</p>	<p>今のことに関して、副読本の話をしたが、ごみをなくすことがどれだけ大切かとか、資源ごみの回収についてとか、根本のことがわかる、わかりやすく説得力のある資料があれば、教えていただきたい。</p>
<p>議長（長谷川会長）</p>	<p>宮城県では、仙台市内はどうかかわからないが、小学校から要請があれば、資源化や減量化についての演劇があつて巡回しているという。去年は約4,500人の児童がそれを観たということだ。仙台市でも児童を対象にしたもので、何かあつたら回答願いたい。</p>
<p>リサイクル推進課長</p>	<p>小学校から依頼を受けた場合には、ごみ減量・リサイクルについて説明に出向いたり、また「環境施設を見る会」としてバスの運行などもしているが、そういうものを利用していただいたり、いろんな形で学校に対してPRを行っている。そのほか、ごみ減量・リサイクルについては、小学校4年生の授業の中でとり上げていただいている。</p>
<p>議長（長谷川会長）</p>	<p>行政もいろいろお手伝いをしているようだが、まだ一般的には知られていないようなので、もっと幅広くやるようなことができればと思う。よろしく願いたい。</p> <p>他になれば、議事の「(2) その他」について、説明をお願いしたい。</p>
<p>総務課長</p>	<p>資料4は、平成17年度のごみ排出量とリサイクルの状況、それから平成18年度の取り組みについて記載したものである。リサイクル推進課長から説明する。</p>
<p>リサイクル推進課長</p>	<p>(資料4について説明)</p>
<p>議長（長谷川会長）</p>	<p>ただいまの説明について、質問や意見をいただきたいと思うが、何かあるか。</p> <p>ごみ排出量が減っているのは、事業ごみの中の紙が減ったからで、トータルで言うとよさそうに見えるが、内情を見ると、家庭から出ているごみは減ってない。これをどう減らすかが課題であるが、そこで現在、有料化の検討や紙類の更なる資源化について議論されている。今の仙台市の状況について改めて見ると、いろいろな努力をしているということがわかると思う。</p> <p>特に意見等がなければ、今日の審議は終わりにする。事務局から何かあれば願いたい。</p>

<p>総務課長</p>	<p>次回の審議会の日程は、8月の終わりから9月の初め頃の日程で考えている。具体的には会長・副会長と相談して、後日連絡を差し上げたいと考えている。</p>
<p>議長（長谷川 会長）</p>	<p>以上で準備した議事はすべて終了した。委員の皆様方から他に意見がないなら、終わりたい（閉会宣言）。</p> <p>議事録署名人</p> <p> 仙台市廃棄物対策審議会 会長</p> <p> 仙台市廃棄物対策審議会 委員</p>